

科目名	成人看護援助論Ⅳ				
担当講師名	小守 宏実	所属・役職	二戸病院 主任看護師	資格・免許	看護師
担当講師名	中村 真祐美	所属・役職	二戸病院 看護師	資格・免許	看護師
担当講師名	田中 千恵子	所属・役職	看護教員	資格・免許	看護師
授業形態	講義・演習	単位数・時間数	1単位 30 時間	開講年次	2学年後期
講義の概要	【手術を受ける大人への看護】 ・成人の生活と健康問題との関連、成人に対する基本的アプローチ方法を学び、健康レベルや機能障害に応じた看護を実践できる基礎的知識・技術の習得を目標とする。 ・症状アセスメントは、臨床で遭遇する頻度の高い症状を病態生理学の知識とフィジカルアセスメントの実践を統合させ症状アセスメントできる能力を養う。				
到達目標	・手術療法を受ける人の看護を理解できる ・生命の危機的状況の観察や看護判断、患者の状態に応じた看護を理解できる				
講義回数	講義内容				
1	急性期看護の特徴 （教員） 対象の理解、クリニカルパス、必要なアセスメント力				講義
2	手術前からの看護 （教員） 手術療法の理解、意志決定への援助・術後合併症のリスクアセスメント、術前オリエンテーション、心理面（不安）への援助、合併症の予防のための指導と準備、ボディイメージの変容への援助				
3	手術中の看護 手術方法による影響と援助、手術体位による影響と援助、麻酔による影響と援助、安全管理				
4	手術後の看護 侵襲と生体反応・合併症の観察と看護				
5	手術後に必要な看護技術 術後の病室・ベッドの準備、観察内容				
6	手術後に必要な看護技術 疼痛管理、排痰ケア、ドレーン管理、早期離床への援助				演習
7	胃切除術を受ける患者の看護				講義・演習
8	大腸の手術を受ける患者の看護				
9	ストーマ造設術を受ける患者の看護				
1 0	乳房切除術を受ける患者の看護				
1 1 ～ 1 5	胃切除術後の患者の臨床判断 （教員）				演習
教科書等	教科書：「臨床外科看護総論」「臨床外科看護各論」「臨床看護総論」医学書院 「疾患別看護ケア関連図」/「症状別看護ケア関連図」中央法規 「よくわかる周手術期看護」学研 参考図書：「成人看護実習ガイドⅠ 急性期・周手術期」照林社 「高齢者と成人の周手術期看護2 術中・術後の生体反応と急性期看護」医歯薬出版株式会社				
成績評価方法	出席状況、授業参加状況、課題レポート、筆記試験等により総合的に評価する				
履修上の留意点	既習の病態学、フィジカルアセスメントをふまえて授業に臨む				
特記事項					

